

二 部 地 区 活 性 化 だ よ り

野上川の風

発 行
二部地区活性化推進機構

編 集
総 務 部 会

事 務 局

〒689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二 部 公 民 館 内
TEL・FAX 0859-62-7159



＜交流が始まりました＞

会長就任挨拶

会長 田邊公教

平成二十六年度の委員総会で引き続き会長を
させて頂くことになりました。

もとより、その任務の重大さを今更ながら痛
感いたしておるところであります。任期中大変ご
迷惑をお掛けすることと思いますが、役員
の皆様をはじめ、各部会長や委員の皆様のご指導
とご協力を頂きながら、その任務を懸命に果たし
たいと思いますのでどうかよろしくお願いいたし
ます。

平成二十六年度の事業はそれぞれ各部会で検
討、樹立し、委員総会で承認頂きました。

継続する事業のほか新しい事業も検討の上取
り組んで頂くことになっております。

二部地区も過疎と少子高齢化が一段と進み、空
き家の増加が目立つようになりました。小学校
統合も、目の前に迫っており、また農地の荒廃も
増加しつつあります。このような状況の中で私達
に課せられた課題も、大変厳しいものがありま
す。委員の皆様アイデアを期待したいと思いま
す。

昨年末より新しい事業として地区外との交流
を検討し、米子市河崎地区との交流をすること
にしました。

二部地区活性化のために二層のご協力を頂きま
すようよろしくお願い申し上げます。

総務部会の今年度の

取組みについて

総務部長 野口哲男

今年度は、次の事業を重点的に取組みを進めます。

「世代間交流事業」は、二部梁山泊と協同でハロウィーンイベントを開催します。今年度は、イベントで使用するジャイアントポチャの苗作りを地域の方に協力頂き、各協力者の方に栽培を行って頂いているところです。

「他団体（地域）との交流事業」は、米子市河崎区との交流の一環として、「河崎伝承芸能フェスティバル」が七月十九日に二部傘踊り同好会に出演していただきました。他にも公民館まつり等においても交流を図る予定です。

「先進地視察研修」は、地域活動が進んでおり、二部地区の取組みの参考となる地域を視察します。地域の特産品となるものを栽培し、収穫・加工・販売といった取組みが実施され、その取組みを通して、若者から高齢者までがうまく共存している地域を視察します。



＜少しずつ成長中＞

活性化運動について思うこと

産業振興部副会長 花田 学

二部地区の過疎化が進み、衰退の一途を辿って久しい。そのことの裏返しとして、活性化の一層の盛り上がりを図ろうと運動を続けてこられた方々に敬意を表したいと思います。

地域の英知を集めた各方面の方々の努力にも関わらず、未だ衰退に歯止めがかかっていません。

私は十戸程の集落の代表で参加しています。活性化運動は、いわゆる「ボランティア」で各個人の各々の考え方、生活のあり様等同じではないという事を前提に展開すべきで、個人個人が出来る事を出来るときに、「出来るだけ精神」で活動することが基本と考えます。第二のゴールドラッシュでも起きない限り、地域の再度の発展は望めないと誰しも理解しておられると思います。しかし、アメリカ西部開拓時代に東から西へ向かう開拓者の為に、リンゴの木を植えて渡ったという「ジョン・アップルシード伝説」のように、すぐに結果の出ない活動でも、二部地区を良くしたいという思いで少し先を見据え、大上段に構えることなく「出来るだけ精神」でやっていきたいものだと思います。

＜タケノコの出荷＞



環境美化を目指す取組み

住みよい環境部会長 山本芳史

昨年度までは、参加する側で活動しており、全体的内容までは解りませんでした。

今年度、活性化の委員となりましたが、非常に広範囲の内容に戸惑いながら、流れの中で住みよい環境部会の担当になりました。

参加する側から、協力をお願いする側になり、先輩方に相談しながらやっていきたいと思っています。

六月には、「道路・河川の一斉清掃」や「野上川のヨシ刈り・集草作業」の協力をお願いしましたところ、大勢の方にご協力いただき、誠にありがとうございました。野上川のヨシ刈り・集草作業は、今まで年一回の作業でしたが、今年度からは、県の制度改正により年二回になりました。協力して頂く皆様にご理解を頂きながら、秋頃にもう一回同じ作業を行います。

何も分からない中での活動になりますが、部会員と相談し事業を進めますので、皆様、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



＜きれいな二部地区に＞

花を楽しむ

趣味と生きがい部会長 中田京子

当部会では、四月二十四日、秋に開催する予定の菊花展に向けて、住田泰さんの指導の下、赤・黄・白・ピンク・早咲の五種のドーム菊の挿し芽作業を六名で行ないました。その一カ月後の五月二十六日には、二十二名の方に挿し芽苗を配布しました。菊花展に来られる方に、皆さんが丹精込めて育てた色とりどりの菊を見て楽しんでいただきたいと思っています。

また、六月十四日には、二部公民館の花壇の草取り、チューリップの球根の掘り起こしをし、その後、花期が長く、色鮮やかな日々草、マリーゴールド、サルビアの苗植えをしました。

多くの方に足を止めてもらえるような花壇づくりをしようと心掛け活動していきます。



＜菊花展に向けて＞



誰にでも出来る

スポーツの推進

健康スポーツ部会長

南葉克宏



＜よ〜く狙って＞

二部地区住民の多数の参加を熱望しております。

誰にでも出来るカロリーニングとグラウンドゴルフを推進し、少しでも住民の親睦が図られたらと思います。

そのために、部会員と共に広く声掛けを行ない参加者を募っていきたいと思っています。住民各位の協力をよろしく願っています。

支えあいはおもてなしの心で

福祉ボランティア部会長 澤田恭輔

当部会は、今年度、伯耆町社会福祉協議会からの依頼を受けて高齢者・障がい者の野外活動支援や、八十歳以上のひとり住まいの方への友愛訪問を行ないます。

支えあいの取組みは、多くの人が熱心に行なっていますが、いくつかの問題があるようです。その一つは福祉に繋がると安心してしまい、地域との支えあいに関心がなくなってしまうことです。この点については考えてみる必要があります。

もう一つの問題は支えてあげたいと思っている人は多くいるが、支えてほしいと言える人が極端に少なく、支えられるとみじめな気持ちになってしまう人が多くいるようです。このような人に対しては、「おもてなし」の心を接するのが良いと思います。相手に心を受け入れてもらいたいから「おもてなし」をする。相手の心を受け



＜心を込めて＞

たいから「おもてなし」を受け取る。互いに受け入れ合う文化が日本にはまだ残っていますが、その心を生かしていくことが必要ではないでしょうか。

たべてごしない二部の味

ファンクラブ部長 車 陸宏

四月の二部地区活性化推進機構の役員改選で当部会の部会長役を仰せつかりました。

当部会は、二部地区出身で県外・町外にお住いの方々に二部地区の活動状況をお知らせしたり、二部地区の農産物、農産加工品を小包便にして希望者の方に販売、発送させていただきます、故郷を思い出していた

だきたい。また出品者の皆様には多少でも収入増に繋がり、生産者の輪が広がって少しでも活性化できればとの思いで設立された部会です。

目的達成に向け五月七日、農作業のとてもお忙しい中、今年最初の部会を開き、七月十八日に発送した小包便の協議を行ない、発送日・品物・プレゼント品注文受付開始日などを決定しました。皆様方の御協力を賜りありがとうございます。

我々部会員九名は、冬の小包便についてもお客様に喜んでいただけるように考慮中です。今後ともご指導ご協力いただきますようお願いいたします。



＜二部地区の特産品を発信＞

河崎地区の紹介

河崎自治連合会長 北村 軍二郎

この度は、鳥取県のご協力により地域間交流をしてはどうか、との話があり米子市河崎地区と伯耆町二部地区と交流することができ、大変喜んでいきます。わが河崎地区は、弓ヶ浜半島の米子よりに位置しており、昔から「ネギ」の産地で、現在も多くの農家の皆様が栽培をしています。また、「さつまいも」がよく採れる地区です。

さて、河崎地区の紹介として、毎年七月に開催している「河崎伝承芸能フェスティバル」があります。河崎の伝承芸能といえば、「河崎花傘踊り」や盆踊り「茶町・神戸・関の五本松」であります。その他、カラオケや寸劇、ドンドン演奏など多くの出演者で賑わっております。また、今年も去年と同様に伯耆町の「鬼面太鼓振興会」の皆さんにも特別出演をしていただきました。夏の夕方からのフェスティバルにお越しくださいました皆さん、楽しまれたでしょうか。来年もお待ちしております。



＜河崎公民館＞

ハロウィーンイベントに向けて

二部梁山泊頭領 梶間 晋二郎

平成二十四年から二部地区を中心に活動している「二部梁山泊」です。皆さんも見られたことがあると思いますが、今年も巨大かぼちゃを使用したハロウィーンイベントを実施したいと考えています。

昨年度から二部地区活性化推進機構の協力を得ながら実施していますが、今年は更にパワーアップして実施します。既に協力していただいているご家庭もあるのですが、カボチャ作りから皆さんの協力を得て、昨



＜提灯づくり＞

年を大幅に上回るカボチャ提灯を作製し、二部地区全体に設置したいと思っています。

カボチャ提灯づくりイベントを十月二十六日（日）に開催する予定しております。幼児でも簡単に作成できますので、ご家族をお誘いあわせの上ご参加ください。

あとがき

梅雨が明け夏本番となりました。今回発行する「野上川の風」は、今年度の取組みの紹介を中心に記載させて頂きました。

特筆としては、河崎伝承芸能フェスティバルでの「二部傘踊り同好会」の出演模様を写真掲載しました。今後二層の二部活性化を期待してあとがきとします。